

< 1月第一例会報告 >

EMC 主査 野呂 隆
今年の新年懇親会は、長坂氏の入会祝いを兼ねて、盛大に行なわれました。



1月の例会は毎年新年懇親会を開催しますが、今年は新年早々に入会される方がおられるので、そのお祝いも兼ねて行われ、出席者はメンさん13名、メネットさんとゲストさんで5名の総勢18名になり、大変に賑やかで縁起のよい新年会になりました。

場所は須磨区の板宿駅近くにある「あみ」という比較的小さな店なのですが、この界限でよく知られたふぐが看板の店なのです。

夕方6時からの開会でしたが、それを待ちきれずにほとんどの人が時間前に来て、ビアサーバーからのよく冷えたビールを威勢よく飲み始めておりました。

顔ぶれがそろったところで料理が用意されて、乾杯のあと一斉に箸をつけました。この日のメニューは冬の味覚のふぐのフルコースで、居酒屋でちょっと一杯という普段のイメージとはかけ離れた豪華版でした。まず、最初に出たのはお馴染みのてっさ、次はふぐサラダ、唐揚げと続いて、その後にはふぐちりが出されました。これは出汁がよく効いて味や香りが大変よくて、全員が満足して舌鼓を打ちました。

これだけご馳走になるとヒレ酒の効き目もあって、みんなの顔が赤らみはじめ、今年の活動のこととかいろいろ話題で盛り上がりました。

長坂さんは、現役時代に技師として海外勤務が長かったそうで、アメリカや南米などの話を聞かせてもらい、興味は尽きませんでした。

料理の最後は、肝の入った雑炊に切り干し大根の壺づけが添えられ、すべてをおいしくご馳走になって、大いに堪能しました。

この勢いで、クラブの活動も今年一年頑張っていこうと誓い合って、お開きとなりました。

帰りは夜も更けて寒気で冷え込んでおりましたが、皆さん大変よい気分で家路に向かいました。



< 2月事務例会報告 >

会長 藤井久子

会議名：2月第二(事務)例会

日時：2017年2月2日(木曜)

19:00～20:10

場所：西神戸YMCA

出席者：阿部、合田、佐伯、杉本、
館、達、田辺、丹家、中村、西田、野呂、檜木、
藤井、阿部メネ
(ゲスト)長坂氏



1. 報告事項

- (1) YYフォーラム(1月28日)報告 佐伯メン
「YMCA ブランドコンセプト」について、15のグループでセッションがあったこと等
- (2) 第20回西日本区大会 参加登録申し込み
・日時：6月10日(土) 11日(日)
・登録予定者：杉本、藤井、田辺(検討中)
- (3) 西日本区会長・主査研修会
・日時：3月18日(土) 19日(日)
・参加者：次期会長・田辺征一メン、次期部長・杉本隆人メン

2. 協議事項

- (1) 2月第1例会(神戸西クラブと合同例会)
・長坂泰一氏入会式
・「美味しい日本茶の入れ方」講師 宇治園常務取締役 神崎哲夫氏
・何種類かのお茶の入れ方の実演があります。急須・湯呑・お茶は講師が持参下さいませ。クラブで用意の必要な物・・・ポット(2つYMCA、1つ丹家メン)、茶殻入れ(藤井)お茶菓子(メネットさんと相談)
- (2) 3月例会・4月例会
・3月2日(木) 事務例会
・3月16日(木) 第一例会 フルートアンダンテは不可能、別をあたっています。
・3月11日(土) 井上真二総主事との懇談会 現・次期会長、次期部長が出席予定
・4月6日(木) 事務例会
・4月20日(木) 第一例会
「ロコモティブ・シンドローム」講師 美崎晋氏(神戸クラブ会長 整形外科医)
・4月15日(土) 六甲部第2回評議会

3. その他報告事項等 各役員、各委員、YMCA

- (1) 神戸YMCA 新会館建築寄付金について

「六甲部の他のクラブは、2015年に六甲部として寄付した以外に金額に差はあるがしている。YMCAのサポートクラブとしてこのままで良いのか？」との提案があった。現状調査を西田主事に依頼。

- (2) 次期六甲部事務局長について・・・再度検討したがなしとし、クラブで支援する。
- (3) 六甲部部会(9月24日)120名～140名・・・メリケンパークオリエンタルか六甲荘で検討する
- (4) 明石に新しい拠点(ハピオス明石5階)1月27日保育ルームがオープン・・・年中無休(一時保育)
- (5) チャリティーランの案内を次年度から明石市にも案内する?
- (6) 「もちつき」いろいろと衛生面から言われているが、クラブとしては何とか継続したい。

< YYフォーラム報告 >

2016年度YYフォーラム

今しか聞けないブランディングのなぜ?

副会長 佐伯一丸

2017年1月28日神戸栄光教会にて開かれました。

YYフォーラムは神戸YMCAに関係しているワイズ、リーダー、職員がつながる場です。今回はブランドコンセプトの理解を深めることで、したい何かが見つかることを願って開かれました。

「YMCAブランドコンセプト」が日本YMCA同盟協議会から昨年6月に発表されました。これはYMCAが社会と行う約束です。このブランドコンセプトに基づき、YMCAの価値を内外に明確にするブランディングの取り組みを、全国で本格的に展開していくことになります。

まずは講演で、三浦友里江氏(広島YMCA、日本YMCA同盟ブランディングタスクチーム)と船戸輝久氏(大阪YMCA、日本YMCA同盟ブランディングタスクチーム)からブランドコンセプトについて説明がありました。以下、配布資料に基づいて要点を書きます。

1. ブランドコンセプト

～「これが日本のYMCAです」

Vision～YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。



「ポジティブネット」とは

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

課題の多い社会の中で、それは、生きるための一つの選択肢となっていく。

私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を生かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value~YMCA がステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かが見つかり、誰かとつながる。

私がよくなる、かけがえのない場所。

みつかると Discover Something

つながると Meet Someone

よくなると Be Good

Personality~ブランドとして備えているべき個性、らしさ

心をひらき、わかち合う。

前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing, Proactive & Attractive

2. そしてみんなで歩き出そう

約90名弱の参加者が15のグループに分かれて次の項目に基づいて話し合いました。

(1) 講演の感想と現場や自分の感想

< 今月の聖句 >

だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。

(マタイによる福音書 第6章34節)

古代ローマ人は「メメント・モリ (死はいつ訪れるかわからないことを忘れるな)」という警句を好んだという。もっとも、彼らの場合、「明日死ぬかもしれないのだから今を楽しもう」というのが本音で、胃薬を飲みながら美食に耽ったとも言われる。

「明日は明日の風が吹く」「明日があるさ」と言うが、「明日は別な日になってしまうのだから、明日や将来のことを心配しても、いいことは一つもない。今日というかけがえのない日を悔いのないように、今すべきことに一生懸命に取り組むのが大切」というふうに解釈すると、「いまはそんなに頑張らなくてもいい」「とりあえず適当に力を抜いてやろう」とは意味が違うことがわかる。

今日一日、やるべきことを頑張る。やるべきことから逃げずに誠実に向き合う。そのために今日という日があり、そうしてこそ希望を明日に託すことができる。今日を喜ばなければ、一生喜ばないかもしれない。内村鑑三は「一日は「貴い」一生である。〈明日のことを思いわずらって〉これを空費してはならない」(『一日一生』。〈 〉は引用者による)と説いた。

~ 『声に出して読みたい新約聖書』 齋藤孝 著 草思社 ~

- (2) 今の社会の課題
- (3) 社会の課題に対するYMCAの可能性や期待
- (4) シェアリング (グループで最も共感した課題を代表者が発表)
- (5) 私のアクション (各自がメモ用紙に書いて前に張ってある大きな模造紙に張り付ける)

3. 今後の予定

- (1) これまで各YMCAでバラバラに使っていた「スローガン」や「ロゴマーク」を統一したものを、今年の6月に発表する予定です。
- (2) 2018年4月からは、コミュニケーションツール(パンフレット、ポスター、WEBサイトなど)、会館(看板、掲示物など)から、事業・活動(事業やプログラムの内容・コンセプト、スタッフのあり様など)にまで浸透させ、全国展開していきます。
- (3) 今後、このための役員・スタッフ・リーダー研修、担当者会なども実施します。